

中執ニュースレター No.7

2005年8月1日発行

東京農工大学職員組合 中央執行委員会

今月号の内容

組合の組織強化に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・	1
組合へのご意見募集・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第11回中央執行委員会の報告・・・・・・・・・・	2
第1回学長交渉の報告・・・・・・・・・・・・・・・・	2
ビアパーティ報告・・・・・・・・・・・・・・・・	4
写真展「ヒロシマ・ナガサキ」の報告・・・・・・・・	4
7月の活動・・・・・・・・・・・・・・・・	5
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・	5

組合の組織強化に向けて

梅雨明け後、暑い日が続いています。先日のビアパーティにはご参加いただけましたでしょうか。

中央執行委員会では、「組合に入ろう！」キャンペーンを実施して参りましたが、お陰様で、今までに退職者数を超える入会者を得ることができました。お礼申し上げます。

この度の学長交渉では事務職員の人事評価システムについて、交渉を行いました。残念ながら、大学当局に実施を撤回させることはできませんでしたが、システムが完全でないことを認めさせ、不備が見つかった場合には速やかに改善することや苦情相談窓口を早期に開設することなど、一定の前進がありました。しかし、一連の交渉で見えてきたことは、事務職員の問題を扱っているにもかかわらず、事務職員の組合員が少ないことによる限界です。大学の発展のためには、労働組合の組織強化は不可欠ですが、私どもの組合では事務職員の組合員の増加が必要です。中央執行委員会は、組合員の増加に向けて、引き続き取り組みを強化して参りますが、皆様方のご協力をお願いします。

組合へのご意見募集

中央執行委員会では、毎月メール配信している「中執ニュースレター」に組合員の皆様の声を掲載して、組合員の相互理解の場にしていきたいと考えています。組合の

あり方、活動内容、ニュースレターの記事など、何でも結構です。是非、ご意見や要望をお寄せ下さい。ご意見・要望は下記のアドレスにお願いします。

投稿先 kumiaif@cc.tuat.ac.jp

第11回・第12回中央執行委員会の報告

第11回（7月8日開催）中央執行委員会の議事について報告します。

（1）学長交渉について

7月12日開催の事務職員の人事評価システムに関する学長交渉に向けて、最後の検討を行いました。交渉結果については、学長交渉報告をご覧ください。

（2）組合に入ろう！キャンペーンについて

新規に作成したパンフレットを未加入の職員に配布して、入会を呼びかけることとしました。中に入れ込むビラには職場代表者のお名前や改定された組合費を載せることにしました。また、学長交渉報告を兼ねたビアパーティを開催して、未加入の組合員にも参加を呼びかけることとしました。ビアパーティの様子については、報告をお読み下さい。

（3）平和行動について

今年は被爆から60年の節目の年であることから、原水爆禁止世界大会への派遣者を募り、派遣することとしました。また、学生会や生協と連帯して原爆写真展を開催することとしました。詳しくは写真展の報告をご覧ください。

第1回学長交渉の報告

7月12日（火）13：10～14：40 学長室にて、事務職員の人事評価システムについて交渉を行いました。ここでは、概要を報告します。

1．人事評価システムの検討経緯について

組合は、昨年段階で‘試行を行う’とされていたものが、今年度になって急に‘全事務職員を対象にした実施’に変わった経緯について説明を求めました。

当局側は、平成16年10月に役員会で検討された案は課長補佐級以上で試行するものであったが、それは評価システムの1つの案であって決定ではなかった、と釈明しました。その上で、5月からの新役員も、実施案が前のシステムより良くなったと考えている、前学長が決めたものだからするのではない、良いものだから実行したいと思っている、役員会の全責任において進めてきた、職員の能力を十分発揮出来るシステムとして考えてきた、と説明しました。

2．内容について

組合は、示された実施案に対して、様々な内容的な不備と実施を強行した場合の混乱を指摘しました。

当局側は、誰が見てもパーフェクトであれば問題ないが、現在のシステムより良

いものかどうかが問題である、よりベターなものが固まったのですぐ実施すべきだと思っている、組合から試行でという話もあるので、今後問題があればすぐに見直すことにしたい、と述べて不備な点は改善することを約束しました。

3．目標の書き方について

組合は、実施案の様式について、具体的にどのように記載したらよいのか、また、記載内容の決定はどのようになされるのか、問いました。

当局側は、どのように書いてもよい、と述べる一方で、中期目標、中期計画があり、年度計画がある、そして年度計画に基づくチームの計画と流れがあるわけで、おのずと個人の目標も見えてくるのではないかとこの評価システムの根底には年度計画の達成があることを明確に示しました。そして、今までは目標が無かったのに、今度は目標を作るのだから今までより良いものになっている、最終的に目標は上司と相談して書くことになる、と自発的な目標設定よりも大学全体の目標が優先されることを示しました。

4．実施体制について

組合は、具体的な評価項目や客観的評価が示されないまま総合的な評価が下されることに対する様々なトラブルや組織崩壊の危険性等について指摘しました。

当局側は、すでに5回の説明会をしてきた、不安があるのは事実かも知れない、慣れていないシステムを危惧するのは解る、と現状認識を示した上で、新しいシステムの導入では、評価する人を信用することが前提だ、大学が信用する社会であって欲しい、と現在の人事システムを基本にしていると説明しました。また、月に1度、方向性の協議を行って、理事の指示がリーダーへ、リーダーから部下へと末端まで届くようにしている、さらに、各チームで問題を話し合い、みんなでサポートし合っている、と運営方法をすでに改善してきたと述べました。

5．給与等への反映について

組合は、就業規則や実施体制が未整備の現状では、あくまでも試行として実施すること、給与等への反映はやめるべき、と主張しました。

当局側は、しかるべき仕事をした人がしかるべき処遇を受けるのが当然、評価の多重性のメリットを生かせば、客観的な評価となるので給与に反映できる、ただし、評価と人事は別であり、今までの良い点が無くなることはない、と述べ昇格等については含みのある表現をしました。

6．諸制度等の整備について

組合は、実施が強行された場合に生じるトラブルへの対応として、早期に苦情相談の窓口を設けることなど、諸制度の充実を要求しました。

当局側は、苦情相談窓口等の整備はきちんとする、と制度の改善を約束しました。また、メンタル面で問題を抱えている人がいるのは事実、と述べて今後の対応策について検討することを表明しました。

(東城清秀 記)

ビアパーティ報告

(府中地区) 7月15日(金)夕刻、本部地区の50周年記念ホールでビアパーティが開催されました。この行事は、「組合に入ろう!」キャンペーンのひとつとして企画されたものです。執行部からは、新たに作成した組合加入パンフレットの説明、人事評価に関する学長交渉の中間報告、新入組合員の紹介などを行いました。書記さんの料理も含めたご馳走が並ぶなか、みなさん予定時間を超えて懇談し、盛会でした。今回参加できなかった方も、まだまだサッカー観戦やボーリング大会も企画しています。ご期待ください。

(鈴木 馨 記)

(小金井地区) 梅雨明けになった7月22日、金曜日の夏の夕暮れ。小金井支部組合事務室へは、暑さ払いのビールを求めて30人の方々が集まりました。農・工それぞれからの参加があり、交流を深め合うとともに、「組合に入ろう」キャンペーンの一環ということもあって、新規組合員獲得の報告も行われ盛り上がりました。ビール片手に寿司を食べ、おつまみには組合員自家製の枝豆(ポクポクしていました)をいただきながらの楽しいひとときでした。

(田中邦明 記)

写真展「ヒロシマ・ナガサキ 2005 1945」の報告

職員組合が共催する原爆写真展「ヒロシマ・ナガサキ 2005 1945」が7月26日～29日の日程で、農学部2号館フリースペースで開催されました。すでに試験期間となっていたが、延べ200名を超える職員と学生の入場者がありました。折り鶴は約280羽、募金総額は1万円でした。衝撃的な写真に思わず顔を背ける人、食い入るように説明を読み進む人、議論し合う留学生、また、延々と折り鶴を折る学生など、様々でした。寄せられた感想文には、「来てよかった」「二度とこのようなことは・・・」など、平和への思いが綴られています。感想文は生協ホームページに掲載される予定です。なお、今回の展示写真は元職員の泉順太郎さんより提供いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



(東城清秀 記)

7月の活動

- 7/8 第11回中央執行委員会
- 7/11 中執ニュースレター7月号配信
- 7/12 学長交渉(人事評価システム)
- 7/13 組合に入ろう!パンフレット刷り上がり
- 7/15 ビアパーティ(府中)
- 7/20 小金井支部執行委員会
- 7/21 原爆写真展の打ち合わせ
- 7/22 ビアパーティ(小金井)
- 7/26-29 原爆写真展
- 7/27, 29 学長交渉の予備交渉
- 7/30-31 全大教第36回大会

編集後記

先日、うちの猫が妙に「ミャーミャー」興奮している「？」ので行ってみますと、なんと「！」夏の風物詩“カブトムシ()”がベランダに着陸しておりました。どこかの家の虫カゴから逃げ出したのか「？」、はたまた、まさか野生「？」。とりあえず飼ってみることにしました。はるか昔に飼ったことはありましたが、不安なのでネット検索して調べると、なんと「！」、幼い頃にあげていたスイカが、実はあまりよろしくないとの事実が発覚「！」。ペットショップで売っているゼリーを与えて飼育中です。さて組合活動でわたくしはといえば、労使交渉体験中です。こちらも、なぜそうなのか「？」、なるほどそうだったのか「！」、おかしいなあ「？」、こうすればどうだろうか「？」、などと勉強させてもらっている感じです。それと同時に大学内には、いろいろな立場からみると、なかなか難しい「・・・」ことが山積していることがわかってきます。組合が契機となり、よりよく働きやすい環境の職場「！」が実現できれば「！」と思っています。

(田中邦明)

発行 2005年8月1日
東京農工大学職員組合中央執行委員会
TEL: 042-367-5797 (府中)
042-388-7202 (小金井)
E-mail: kumiaif@cc.tuat.ac.jp
HP: www.tuat.ac.jp/~kumiai/index.htm